

「わかりあおうとする社会へ ～ヘイトスピーチや差別落書きについて考える～」 シンポジウムを開催しました。

暑さ真っ只中の8月2日(日)、萱野中央人権文化センター3階ホールで市と共催でシンポジウムを開催しました。新型コロナウイルス対策で「密」にならないよう、人権協初のZOOMによるリモート中継も視聴覚室で実施しました。

最初に、平成29年度以降に続いている市内の差別事象が市から報告されました。続いて、パネリスト4人が登壇。

浅居明彦さん(部落解放同盟浪速支部 前支部長)は、JR駅トイレで発生した連続差別落書き事件について、概要や背景と市民の取り組み、逮捕された犯人の職場では部落問題の研修がされていなかったことなどを報告し、歴史や現実をまず「知る」ことの大切さを訴えました。

文公輝さん(多民族共生人権教育センター事務局長)からは、差別落書きを経験し背筋が凍る思いと人に対する疑心暗鬼・不信感をもったことが語られ、ヘイトスピーチ解消法の成立と限界、ネット差別の野放し状態など、日本での常態としての差別の存在を提起されました。



田岡ひろみさん(豊能障害者労働センター月刊機関紙『積木』編集長)は、差別落書きに関して、行為者も社会に対する不満などがあり、露骨な差別意識も「障害」のことがわからない不安からくること、障害者差別解消法を活用して複数の店に電動車いすで入れなかったことを申し入れると改善された経験などから、障害当事者の人となりや暮

第35回のお市民人権フォーラムは、開催延期に！ 2021年12月開催をめざします。

2020年春。「コロナ禍の今、社会がしんどくなっている時だからこそやる意味がある!」「34年間続けてきた人権を考えるメッセージを途絶えることなく発信したい!!」と、いろんな思いを胸に準備・企画を進めていた第35回のお市民人権フォーラムでしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を延期することになりました。

市内公共施設や教育機関、ご協力いただいた関係団体等あちこちにポスターが貼られ、パンフレットの配布も終わり、参加協力券の販売が始まりました頃、感染者の急激な増加によって、11月22日に予定していたイベント「NHKバリバラ」公開収録が、無観客でのスタジオ収録に変更となりました。

初めての公開収録で多くの問い合わせや反響、そして申

込みがあり、満員御礼?のうれしい悲鳴。芝樂広場、らいとぴあ周辺でのロケもあり、じわじわと盛り上がっていた矢先、突然の変更でがっかり。ざわざわ不安の残る知らせでした。

そして全体会・分科会も開催まで残すところあと2週間あまりというところで、大阪府内の感染者が連日300人を超すひっ迫状況により、やむなく開催延期という苦渋の決定をしました。

今回の開催においては、会場に行かなくても自宅で視聴できるリモート視聴も予定しており、こちらの参加申込みも多くいただいていた。

コロナ禍だからこそ全体会の清水康之さんのお話「生き心地の良い社会をめざして～自殺対策の現場から～」を是非聴いてほしい!各分科会でも、このコロナ禍における問題

らしを知る大切さと、当事者や市民の行動も必要だと提起されました。

会場では、差別落書きに対する多くの人の思いが綴られた「ニュースレター臨時号VOL1・2」も配布されました。また参加者からは、教育のありかた、差別落書きやヘイト行為などの判例、表現の自由との関係、コロナ禍で子どもや保護者ができること、差別発言に対するうまい返し方などの質問や意見が多数出され、仲田幸司えんりけさん(大阪大学大学院人間科学研究科)のコーディネートで議論が深まりました。

差別落書きは社会的分断の最初の兆し。それがエスカレートしないように、市民として行政としてそれに向き合うこと、当事者の思いに共感する人々の輪を広げていくことの大切さを共有しました。

わっと人権シネマ「HAFU」上映会 を開催しました



3月に予定していた映画上映会でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のためにやむなく延期に。やっと10月18日(日)西南生涯学習センターで開催することができました。

日本で生活をする、海外にルーツを持つ「HAFU(ハーフ)」と呼ばれている人たち。彼ら、彼女たちがどんな環境で、どう感じて生きてきたか、そしてどう生きていくのかを捉え、日本社会における多様性の少なさを改めて考えさせられたドキュメンタリーでした。登場人物の一人ひとりのバックグラウンドが違うので、これが正しい生き方で、ハッピーエンド!ではない難しさ、また不完全燃焼を感じる部分もありました。できれば多くの子どもたちにも見てもらい、他者との「違い」を素直に受け止め、共に歩んでゆく社会を作っていく、きっかけの一つになってほしいと思いました。

web site 箕面市人権啓発推進協議会 ニュースレターはHPからもご覧いただけます。 箕面市人権協 ニュースレター 検索

点、そしてどう向き合っていくかを話し合える場を持つため、実行員会メンバーとともに頑張ってきました。延期は残念ですが、めげることなく、再開に向けて工夫をしつつ、気持ちを新たに頑張っていきたいと思います。

開催にあたり、協賛団体、実行委員会メンバー、多くの方々のご協力をいただいています。第35回のお市民人権フォーラムは令和3年(2021年)12月に開催する予定です。引き続きご協力をお願い申し上げます。

2021年1月「人権協新年互例会」も中止いたします

